

放送大学栃木学習センター とちの実

第74号
平成22年9月発行

学びの本質—幼稚園と大学の共通点—

栃木学習センター客員教員 加藤 謙一

いささか妙なサブタイトルで恐縮です。ここでは両者を私の専門である体育・スポーツから眺めることによって学びの本質（共通点）について考えてみたいと思います。幼稚園ではいったい何を学ぶのだろうかという疑問に思ったことはないでしょうか？ 幼稚園は就学前の幼児（3歳から小学校入学前）を入園させて教育を行う学校で、幼稚園教育要領解説（文部科学省）によれば以下のように幼稚園教育の基本が記されています。

1. 幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。
2. 幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として第2章に示すねらい*が総合的に達成されるようにすること。
3. 幼児の発達は、心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。

*第2章に示されたねらいは次の5領域に分けられています。

・心身の健康に関する領域「健康」、・人のかかわりに関する領域「人間関係」、・身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」、・言葉の獲得に関する領域「言葉」、・感性と表現に関する領域「表現」

以上の文言の「幼児」を「学生」、「遊び」を「学び」に置き換えると幼稚園教育は、まさに大学教育と相通じるのではないのでしょうか。もっとも「遊び」は「学び」ではないという考え方があるかもしれませんが、幼児は遊びを通して多くのことを学んでいます。「学び」とはそもそも誰からも強制されるものではなく、個人の自発的な知的あるいは身体的な活動であることを考えると、遊びと学びには大きな隔たりはないように思います。すなわち、ヒトは生まれた時から、意識的であれ、無意識的であれ、学んでいることにもなります。

学生の中には国際級のスポーツパフォーマンスを発揮するものがあります。一方、幼児は、学生のように優れたパフォーマンスを発揮することはありませんが、運動遊びを通して100種類近くの基本的な運動を習得する能力を持っています。しかも、彼らはこれらの習得を大人よりも速く、正確に行うことができます。幼児といっても侮れません。野球のイチロー選手やサッカーの本田選手など一流選手はみな、幼児期に培った基礎技能を土台にしていることはいまでもありません。すなわち、オリンピック選手も子ども時代がありますし、誰でも最初は初心者なのです。

一般に、ヒトには各年代において学ぶための適時性があり、子どもから大人までの間に学びにおいて習得しやすいものがあります。運動学習にかかわる適時性は、かなり限定ですが、それに比べ知的欲求に関する適時性の自由度は大きいと思います。重要なことは、どの年代においても新しいことに対して興味や関心を持つことではないでしょうか。

新しい運動を習得する過程において、幼児は、たくさんの試みの中から成功した運動が選び出され、成功したよこびから何回も繰り返し、やがて定着させていきます。これを成功体験と言います。見方を変え、成功できない試みは繰り返されず、忘れ去られてしまうこととなります。すなわち、成功体験を多く積むことが、興味や関心を持つためには重要になるでしょう。さらに、運動遊びで「できた!」「やった!」といった成功体験を積んだ子どもは自分はやればできるといった「運動有能感」を

→ 次ページへ続く

持ち、反対に、一生懸命やっても上達しなかったり、負けたりという経験を繰り返すと自分はだめな人間だという「運動無力感」を持つとも言われています。しかし、失敗や負けはいけないことなのでしょうか？それらは次への成功につながる大切な経験としてとらえれば、非難の対象にはなりません。

幼児や児童は「能力」と「努力」の概念が区別出来ないため、努力の評価は能力の評価と同じ意味を持ちます。したがって、目先の結果にとらわれることなく、一生懸命に行った結果が、たとえ失敗したり、負けたとしてもそれらは貴重な経験として受け入れることができれば良いのだと思います。以上のことは、幼児・児童期のスポーツ指導における心理的ケアの要点ですが、大人にも十分当てはまりそうな気がします。

学校は本来、進学のためにあるのではなく、人それぞれが持っている知的好奇心を駆り立てるためにあるように思います。そこには子どもも大人もないのです。(了)

栃木学習センターからのお知らせ

栃木学習センター学位記授与式および入学者の集いを開催します。

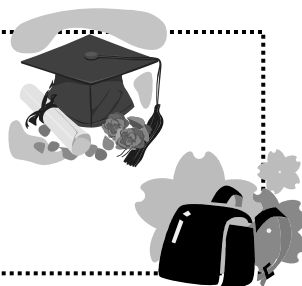
9月26日(日)に、栃木学習センター2階大講義室にて第1学期学位記授与式および第2学期入学者の集いを開催いたします。平成22年度第1学期卒業予定者および第2学期入学者には、別途ご案内をお送りしています。

平成22年度第1学期「学位記授与式」

開催日時：9月26日(日) 13:00～

平成22年度第2学期「入学者の集い」

開催日時：9月26日(日) 14:30～



*なお、当日はセンター2階実験室を茶話室として設けます。客員教員の先生方や職員も参加いたしますので、ぜひご利用ください。

平成22年度第2回公開講座を開催します。

10月3日(日)に栃木学習センターの平成22年度第2回公開講座を開催いたします。一般の方もご入場いただけますので、ご家族ご友人を誘い合わせの上、是非ご来場下さい。



シモツカレの行く方<栃木方言あれこれ>

～『宇治拾遺物語』から立松和平『遠雷』まで～

「シモツカレ」は栃木県の代表的家庭料理です。鎌倉時代の説話集『宇治拾遺物語』に登場しています。「シモツカレ」には「シシツカレ」などの異形があります。その分布などの話から、現代の栃木方言の実態などについてお話しします。

開催日時：10月3日(日) 13:30～15:30

講師名：小池清治(宇都宮大学名誉教授)

会場：栃木学習センター2階 大講義室

定員：100名(先着順)

受講料：無料

お申込み：栃木学習センターまで



事務室からのお知らせ

土曜ゼミに関するお知らせ

9月25日(土)から予定していましたが、鈴木先生の土曜ゼミ「障害者のための自然災害への対応」ですが、先生のご都合により、開催が延期となりました。

開催の日程については、現在のところ未定です。詳細が決まり次第、センター掲示や栃木学習センターホームページにてお伝えいたします。

集中科目履修生（看護師・司書教諭）の方へ

- 集中科目生（看護師資格取得に資する科目）の方へ

単位認定試験日

9月24日(金)または9月25日(土)



受験日は出願時および科目登録時に選択していただいた日になります。変更はできませんので、必ず受験票で確認してください。

*通信指導結果および単位認定試験通知(受験票)は別々に送付されます。通信指導は9月15日(水)、受験票は9月17日(金)までに到着していない場合は大学本部までお問い合わせください。

<試験に必要なもの>

受験票	試験日の約1週間前までに「単位認定試験通知(受験票)」を送付いたします。単位認定試験を受験する際には、「 <u>受験票</u> 」と「 <u>学生証</u> 」が必要となります。
学生証	まだ学生証を受け取っていない学生、写真を提出していない学生は <u>速やかに</u> 栃木学習センターにてお受け取り、ご提出をお願いいたします。
筆記用具	鉛筆をご使用ください。なお、筆記用具は多めに準備をお願いいたします。ボールペン、サインペンなどは使用できません。

- 集中科目生（学校図書館司書教諭講習）の方へ

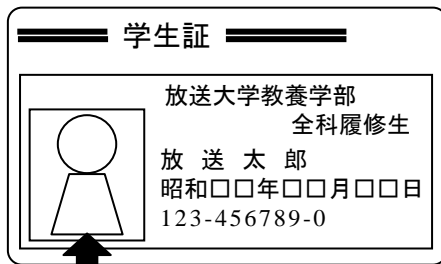


通信指導添削結果の送付	10月上旬 10月9日(土)までに届かない場合は、大学本部までご連絡ください。
単位認定試験課題提出期限	通信指導に合格した方は、単位認定課題を下記提出期限までに提出してください。 課題提出期限 10月20日(水)【大学本部必着】

9月末に学生証の有効期限切れを迎える全科履修生の方へ (今学期で在学期間満了の方、卒業予定者を除く)

● すでに科目登録や出願時に写真票を提出いただいた方

新しい学生証の発行が済んでおりますので、早めに学習センターでお受け取りください。



提出していただいた写真票の
写真が印刷されます！

● まだ写真票を提出されていない方

新しい学生証は以前の学生証と違い、お送りいただいた写真が学生証に直接印刷されて発行されますため、写真票の提出がないと新しい学生証を発行することができません。お早めに学習センター窓口または本部学生課まで提出をお願いいたします。

第2学期面接授業追加登録日程のお知らせ

第2学期面接授業について、科目登録決定後に空席のある科目については、科目を開設する学習センター・サテライトスペース窓口にて追加登録をすることが出来ます。

追加登録は10月下旬より行います。日程は以下をご確認ください。

■ 平成22年度第2学期追加登録 ■

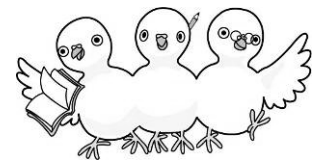
空席発表 10月16日(土)

追加登録期間 **10月～1月開講の授業**

10月22日(金)～科目ごとの追加登録受付期間
(原則として開講日の1週間前。一部例外があります。)

2月開講の授業

10月22日(金)～1月8日(土)



- ◇ 空席発表は、栃木学習センター掲示板およびキャンパスネットワークホームページより確認することができます。(<http://www.campus.u-air.ac.jp/u-air/>)
- ◇ 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行えません。
- ◇ 各科目の追加登録受付期限日については、空席発表時に掲載します。
- ◇ 授業準備の都合上、追加登録を受け付けない科目、または1週間前まで受付できない科目がありますのでご了承ください。
- ◇ 郵送で申請を行う場合、各学習センター・サテライトスペースにより手続き方法が異なります。科目登録申請要項と共に送付された「面接授業開設科目一覧」をご確認のうえ、郵送申請の前に必ず各学習センター・サテライトスペースにお問い合わせください。

面接授業の共修生を募集しています！

**共修生制度を利用すると、
一般の方、大学院生も
面接授業を受講することができます。**

共修生とは

本学学生以外の人（一般の人）、または正規の科目登録を行っていない本学学生（大学院生、聴講生を含む）が面接授業を聴講する際の呼称です。

単位は付与されません。

対象者

本学の学籍を持たない一般の方

本学の学生で科目登録は行っていないが、単位修得を目的とせず、知識教養を深めたい方（例：一度修得した科目の再受講、本学の大学院生など）

受講料

1科目 5,500円（一般の方、学生ともに）

共修生制度を利用したい方は、まずは栃木学習センターまでお問い合わせください。



科目登録者（学生）との違いは？

試験、レポート等の義務はありません。

単位は付与されません。

学習相談日程について

9月～11月の学習相談日程については、以下の通りです。担当教員の都合により日程が変更になる場合があります。申し込みの前に栃木学習センターまでご確認ください。

最新の情報はセンター掲示および栃木学習センターのホームページにてお知らせいたします。

日付	教員名	日付	教員名
9月17日（金）	日高 定昭	10月23日（土）	長谷川 まどか
10月2日（土）	加藤 謙一	10月30日（土）	加藤 謙一
	日高 定昭	11月4日（木）	柏瀬 省五
10月7日（木）	梅永 雄二	11月6日（土）	陣内 雄次
10月9日（土）	加藤 茂夫		長谷川 まどか
	陣内 雄次	11月11日（木）	梅永 雄二
	日高 定昭	11月12日（金）	日高 定昭
10月14日（木）	梅永 雄二	11月18日（木）	柏瀬 省五
10月21日（木）	柏瀬 省五	11月20日（土）	加藤 茂夫
随時		鯨井 佑士	

平成 22 年度第 1 学期単位認定試験解答公表について

第 1 学期の単位認定試験のうち、主任講師の了承があった科目については、試験問題の解答を公表します。9 月 10 日（金）より栃木学習センター図書・視聴学習室にて閲覧可能となりました。室外持ち出しおよびコピー等はできません。なお、閲覧期間は平成 23 年 9 月 30 日（金）までとなります。



各種証明書の発行について

各種証明書の発行は、学習センターで行っております。

学生生活の栞巻末の諸様式にある「諸証明書交付願」に必要な事項を記入し、事務室窓口到手数料（1 通につき 200 円）を添えてお申込みください。「諸証明書交付願」は、「キャンパスネットワークホームページ」からも様式がダウンロードできます。



● 教員免許状申請用の単位修得証明書

「諸証明書交付願（教員免許状申請用・司法試験第 1 次試験免除申請用証明書用の様式のもの）」に、所持している免許状の種類及び教科と申請する免許状の種類及び教科、教員または講師としての在職年数等を記入の上、所属学習センターにお申込みください。

※こちらの証明書は発行までに 1 ～ 2 週間程度かかりますので、発行に要する日数を考慮のうえお申込みください。

● 郵送でのお申込み

郵送でのお申込みは、以下を同封してお申込みください。

1. 諸証明書交付願
2. 手数料（1 通につき 200 円。現金の場合は現金書留、郵便為替の場合は郵便局で手数料相当分の『郵便定額小為替証書』を購入して送付してください。）
3. 返信用封筒（長形 3 号、切手貼付済みのもの）

● 今学期末卒業生への卒業証明書の発行について

今学期末で卒業する学生への卒業証明書の発行は 9 月 30 日以降となります。

住所等変更届の提出について



転居の際は、住所変更届をご提出ください。

放送大学は通信制の大学です。入学後、住所等に変更があった場合は大学からの重要な書類をお届けできなくなります。

転居の際には、最寄りの郵便局への転居届の提出と学習センターに住所等変更届の提出を忘れずに提出してください。（※大学院生は放送大学本部への提出となります。修士全科生の方は本部教務課大学院企画・入

試グループ、修士選科生・科目生の方は本部学生課履修登録グループに提出してください。）

また、住所等変更届はシステム WAKABA から届け出ることが可能です。インターネット環境がある学生は、ぜひご利用ください。

学生からのメッセージ

全科履修生・田村桂子さんは、放送大学で学びながらさまざまな活動に積極的に取り組んでいます。ライフワークであるボランティア活動や、栃木学習センター有志による「町づくりを考える集い」への参加もその一つです。放送大学での勉強や仲間との交流を通じて、いま改めて思うこと。田村さんにお話を伺いました。

(この記事は7月8日より栃木学習センターホームページにて掲載されています。)



学び、次の夢にむかって

田村 桂子 さん (教養学部・全科履修生)
「人間と文化」コース在籍/2006年10月入学生

四日市でのボランティア活動が「原点」

私はもともと宇都宮の出身ですが、名古屋の大学に行きまして、そこで四日市の公害問題に直面しました。1970年代のことです。当時の大学の環境もあって公害訴訟のボランティア活動に参加したのですが、この体験が私の原点になったように思います。該当地域を一軒ずつ訪ね歩いて患者さんに聞き取り調査をしたり、喘息で学校に通えない子どもたちに勉強を教えたり、新聞記者や工員さんと一緒にチラシを配ったり……。これらの活動を通じて多くの人に出会い、見知らぬ人々と手を携えるなかで、人と人とのつながりの大切さを学びました。人間は考え方が違って一緒にやっていける。理屈ではなく、そう思えるようになりました。

関西で暮らした30年のあいだも、そして1997年に故郷・宇都宮に帰ってからも、ボランティア活動は私にとってごく自然なものでした。1999年には市内・戸祭地区で知人と一緒にコミュニティハウス「ゆずり葉の家」を5年ほど運営しました。地域の人が気軽に集まっておしゃべりし、情報交換する「縁側」のような場所をつくりたかった。スペースを提供し、ときには食事会を開いたり、ちょっとした講座を開いたり。でも自分の力不足もあり、しだいにこの先どう展開していったらいいのか迷うことも多くなりました。もっと勉強しなくては……。そう思うようになりました。

放送大学で得たもの

放送大学を選んだ理由は「いくつになっても学びたいと思ったときに学べる」こと。また、各都道府県に学習センターがあり、全国にネットワークがあること。在学中にふたたび関西方面へ行くことになっても勉強を続けられるのが魅力です。それから、学生時代よりライフワークとしているボランティア活動を、勉学を通

して異なった視点から見つめ直したいという思いがあったからです。

実際に放送大学で学んでみて、どの授業も質が高いことに驚きました。特におもしろいのは宇宙科学や脳科学などの分野で、30年前に私たちが学んでいた頃から比べると驚くほど解明されていて、学んでいてワクワクします。友人にも「楽しいよ～」と言っているので、何人かは放送大学に入学して受講してくれているようです。

こうして放送大学でさまざまな科目を勉強することで、これまでの人生を振り返る機会になりました。いままでも自分がやってきたことを客観的に見てみると、気づかされることも多いのです。

放送大学での勉強は日々の生活にいいリズムをもたらしてくれています。自宅から栃木学習センターが近いので、運動をかねて週3~4日、自転車で片道30分の道のりを行き、集中して勉強しています。また、他の学生とも自然に交流が生まれます。昨年12月には栃木学習センター所属の学生有志と「町づくりを考える集い」を立ち上げました。宇都宮も他の地方都市と同様に中心街の空洞化が叫ばれていますが、この問題について私たちにも何か出来ることはないか考えてみようという趣旨です。まずはこんなふうにいるいろいろな人が出会い、話をする「場」が大切だと思うのです。それが地域の力になっていく、と。

まもなく還暦を迎えます。人生の一つの節目です。これを機に、できれば環境問題と市民運動をテーマに卒業論文にも挑戦してみたいですね。そして、こうして知識と経験を積み重ねながら、いつの日か集大成ともいえるコミュニティハウスをつくってみたい。大切なのは、そこで「何を」やるのか——。放送大学を通じて見えてきたテーマや、学んできたことを活かして……と、アイデアがいろいろと浮かぶのです。(談)

図書・視聴覚学習室より

放送教材・図書の室外貸出停止期間のお知らせ

学期末2週間前および学期開始の1週間は、放送教材・図書の貸出停止期間となります。

室外貸出停止期間	全学生	9月17日(金)～10月7日(木)
----------	-----	-------------------

*室内貸出は平常通り行います。集中科目生は貸出停止期間中も室外貸出を行いますのでご利用ください。(1週間に5本までの貸出が可能です。)

閉室のお知らせ

9月26日は、学位記授与式・入学者の集いのため、図書・視聴覚学習室は正午から閉室となります。ご了承ください。

'08・'09・'10年度開設テレビ科目のビデオテープがDVDに統一されました。

'08・'09・'10年度開設テレビ科目は、室内視聴用・室外貸出ともにDVDになりました。この年度のビデオテープは視聴覚学習室の奥の棚に配架してあります。室内視聴をご希望の方は、一回につき一本を窓口までお持ちください。

図書・視聴室入室前のロッカー利用励行

図書・視聴覚学習室はバック等持込み禁止となっております。入室の際には必ずロッカーをご利用ください。尚、貴重品・筆記用具・テキスト等は備え付けの透明バッグに入れてお持ち込みいただけます。

「学生図書リクエスト」の利用について

学生図書リクエストとは、学生の皆さまの学習に関する図書の希望を受け付け、選定後に購入となる制度です。(平成22年度12月24日まで受付。詳しくは図書窓口まで。)

申し込み利用対象者：全科履修生・選科履修生・修士全科生・修士選科生

購入可能金額：1,000円以上30,000円以内

選定対象外の図書：高額図書・継続して刊行される図書及び全集、雑誌等・娯楽読み物(例：ベストセラー等)・個人購入が望ましい図書(例：実用書、マニュアル本、試験問題等)・その他、勉学に資する図書以外のもの。

図書の所蔵場所：本部附属図書館所蔵。貸出は、本部附属図書館所蔵図書の貸出と同様の取り扱いになります。初回は申込者優先で貸出をします。

申込み先：栃木学習センター図書窓口

★この機会に学習上必要な図書をご検討の上、是非ご利用下さい。

図書館OPACサービスのご案内

OPAC サービスは図書を検索や便利な機能がたくさん！新機能も続々登場！

1. 本部図書館図書への配送申込
予約ボタンから申込できます。受取館を希望館（例：栃木学習センター）に設定。
2. 文献複写および図書借用申込
他大学等の所蔵資料の貸借、複写申込を行うことができます！（送料・複写料有料）
本部図書館所蔵資料の文献複写を申し込む事ができます！（複写料有料）
3. 借りている図書の貸出期間延長ができます！
貸出延長する場合は、資料に予約がなく、貸出期間内（31日）であれば一回のみ可能です。手続きをした日から2週間の延長となります。（※貸出後、16日以内に延長手続きをしてしまうと、本来の貸出期間より短くなってしまいますので、ご注意ください。）
4. 貸出中の本部図書館図書への予約
読みたい図書が本部図書館の所蔵で「貸出中」の場合は予約をかけることができます。返却されると電話等にてお知らせがきます！
5. 借りている図書・予約中の図書の確認
借りている図書のタイトルや返却期限を確認できます！
予約をかけた図書の確認や、予約の解除をすることができます！
6. 貸出履歴の確認
2010年1月以降にご自身の借りた図書・放送教材について確認することができます！

OPAC（放送大学蔵書検索）へのアクセス方法

[栃木学習センターホームページ](#) → [図書・視聴学習室の利用](#) → [放送大学附属図書館へリンク](#) → [OPAC](#)

[放送大学ホームページ](#) → [学習センター・図書館・附属施設](#) → [放送大学附属図書館](#) → [OPAC](#)

又は、下記アドレスを直接入力してください。

パソコン <http://opac.ouj.ac.jp/webopac/>

携帯 <http://opac.ouj.ac.jp/mobileopac/>



携帯 OPAC QR コード

※携帯からは上記サービスのうち、3（延長）と5（図書の確認）がご利用頂けます。

OPAC 利用者サービスのパスワード変更のお知らせ

OPAC 利用者サービスへのログインID・パスワードが、キャンパスネットワークのログインID・パスワードに変更となりました。今まで図書窓口で発行したOPAC 利用者サービスのID・パスワードは利用できません。キャンパスネットワークと同一のものを入力してください。

キャンパススケジュール

9月

■は閉所日です。

日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- 図書・放送教材貸出停止期間
全学生対象
9/17(金)～10/7(木)
- 夏季集中科目生(看護師)単位認定試験
9/24(金)～9/25(土)
- 学位記授与式・入学者の集い開催
学位記授与式 9/26(日)
入学者の集い 9/26(日)

18日 柏瀬先生土曜ゼミ
23日 閉所日【秋分の日】



10月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 10/2(土) 学生研修旅行(茨城県方面)
- 10/3(日) 栃木学習センター公開講座
「シモツカレの行く方<栃木方言あれこれ>」
- 面接授業追加登録日程
空席発表 10月16日(土)
登録期間 10月22日(金)～
- 夏季集中科目生(司書教諭)
単位認定試験課題提出期限
10/20(水) 大学必着

16・17日 面接授業「日本文学の読み方」
23・24日 面接授業「基礎心理学実験」
面接授業「観測天文学入門」
平成23年度大学院修士全科生筆記試験
30・31日 面接授業「中国語(入門)」
面接授業「遠くて近いラテンアメリカ」

11月



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20

- 平成23年度第1学期学生出願受付開始
受付期間 11/15(月)～2/28(月)

3日 閉所日【文化の日】
6・7日 面接授業「初歩からのパソコン」
面接授業「遊びの理論」
13・14日 面接授業「基礎英語コミュニケーション」
面接授業「発達障害の理解と教育的支援」
20・21日 面接授業「アメリカ経営史」

【編集後記】

日中はまだ暑い日がありますが、朝晩の気温は徐々に下がりがいよいよ秋の気配を感じます。さて、先月下旬には成績通知書が皆さんのお手元に届いたかと思います。今学期の結果はいかがでしたか?9月で卒業が決まった皆さん、ご卒業おめでとうございます!(藤)

放送大学栃木学習センター

〒321-0943

宇都宮市峰町350(宇都宮大学構内)

T E L 028-632-0572

F A X 028-632-0570

E - m a i l tochigi-sc@ouj.ac.jp

Homepage

<http://tochigi.sc.u-air.ac.jp/>

*「とちの実 第74号」は9月現在で栃木学習センターに在籍のある学生にお届けしています。
次回の発行は11月の予定です。